

ひとはく研究員・台北市立動物園研究員と生物調査を体験する充実の7日間！

第3回

高校生のための生き物 調査体験ツアー in 台湾

泊
6日
7日

2018. 8.1 (木) ▶▶▶ 8.7 (日)



ツアーの魅力

台湾北部に位置する台北市立動物園内には動植物の豊富な森や溪流が広がっています。

そこを拠点とし、台北市近郊の東眼山で兵庫県立人と自然の博物館(ひとはく)の研究員などの指導のもと、動物・昆虫・植物を台湾の高校生と一緒に観察します。標本作製・まとめを通じて亜熱帯の生物多様性を体験しよう！

エントリー大募集！

このツアーは、エントリー後の研修企画団体による参加選考会を経て参加者を決定させていただきます。ツアーへの参加が決定後、改めて株式会社JTBへの旅行の申請が必要です。

エントリー対象者：高校1年生～3年生

エントリー方法：花博記念協会HP掲載の募集要項参照

エントリー締切：2018年5月25日(金) 必着

募集人員：20名 最少催行人員：10名

旅行代金：お1人様 126,800円
燃油サーチャージ、航空保険料、海外空港税、
関西国際空港施設使用料を含む。

お問合せ：花博記念協会
TEL:06-6915-4513
(平日 9:30~17:30)



詳細は上記QRコードから
アクセスしてください。

ひとはく研究員が同行します



秋山 弘之
コケ植物・キノコ



山内 健生
昆虫・土壌動物



池田 忠広
爬虫・両生類



布野 隆之
鳥類

ツアー概要

◆旅行日程(予定)

	月日(曜)	地名	現地時刻	交通期間	予定	食事
1日目	8/1(水)	関西国際空港 桃園国際空港 台北市内動物園	11:10 13:05	BR177(NH5833) (コードシェア便) 専用バス	関西国際空港 発(エバー航空) 桃園国際空港 着 動物園へ移動 台北市立動物園 ・日台高校生 対面 ・遊歩道での生物観察 (台北市立動物園内施設 (泊))	昼:機内食 夕:動物園内レストラン
2日目	8/2(木)	動物園 台北市内東眼山	午前 午後	専用バス	・鳥類観察など 台北市立動物園 発 東眼山自然教育センター 着 ・オリエンテーション (東眼山自然教育センター内宿泊施設 (泊))	朝:動物園内軽食 昼:研修施設 夕:研修施設
3日目	8/3(金)	東眼山	午前 午後 夜		・生き物調査 ・同定および植物標本づくり等 ・夜間生き物観察(ライトトラップなど) (東眼山自然教育センター内宿泊施設 (泊))	朝:研修施設 昼:研修施設 夕:研修施設
4日目	8/4(土)	東眼山 台北市内	午前 午後	専用バス	東眼山自然教育センター 発 台北市内 各所見学 ・龍山寺、国立台湾博物館、夜市 (ホリデイ イン イースト台北 (泊))	朝:研修施設 昼:弁当 夕:夜市にて班行動 各自食事
5日目	8/5(日)	台北市内動物園 台北市内	午前 午後 夜	専用バス 専用バス	台北市立動物園 着 ・キノボリトカゲの食性調査など 台北市内ホテルへ移動 (ホリデイ イン イースト台北 (泊))	朝:ホテルビュッフェ 昼:弁当 夕:動物園内レストラン
6日目	8/6(月)	動物園 台北市内	午前 午後	専用バス 専用バス	台北市立動物園 着 ・生き物調査 ・ポスター制作 台北市内ホテルへ移動 (ホリデイ イン イースト台北 (泊))	朝:ホテルビュッフェ 昼:弁当 夕:台北市内レストラン
7日目	8/7(火)	台北市内 桃園国際空港 関西国際空港	午前 13:35 17:15	専用バス BR130(NH5828) (コードシェア便)	空港へ移動 桃園国際空港 発(エバー航空) 関西国際空港 着	朝:ホテルビュッフェ 昼:機内食

◆ツアー同行者

- ・兵庫県立人と自然の博物館 研究者 4名
秋山 弘之 主任研究員
コケ植物の分類が専門。キノコや花の咲かない植物も担当します。
 - 山内 健生 主任研究員
昆虫の分類が専門。特に外部寄生虫や吸血害虫を研究しています。
 - 池田 忠広 主任研究員
カエル・トカゲ・ヘビ類といった小型の爬虫・両生類の分類・進化を専門に研究しています。
 - 布野 隆之 研究員
鳥類が専門。特にタカなどの猛禽類や都市のカラスについて研究しています。
 - ・花博記念協会 職員 3名
 - ・看護師(日本人女性) 1名
- ※株式会社JTBの添乗員は同行いたしません。

◆宿泊施設

- ・1日目 台北市内
台北市立動物園内施設
- ・2～3日目 桃園市内
東眼山自然教育センター内施設
- ・4～6日目 台北市内
ホリデイ イン イースト台北

※このツアーは、エントリー後の研修企画団体による参加選考会を経て参加者を決定させていただきます。

活動内容

◆夜間観察



遊歩道沿いの夜間観察では多種の爬虫・両生類が見られ、鳴き声を聞き比べます。ライトトラップはライトで昆虫をおびき寄せもので、夜行性昆虫の観察を行います。

◆キノボリトカゲの食性調査



捕獲したキノボリトカゲの口から水をスポイトで流し込み、水をもう一度スポイトで吸い取ります。この手法により、トカゲを殺すことなく、胃の内容物の調査・観察します。

◆植物の採集・標本づくり



東眼山教育センター周辺でコケ植物などを観察・採集し、センターの施設に持ち帰り形態的特徴を観察するとともに、標本づくりを体験します。

◆野鳥観察



台湾の総面積は日本の10分の1ですが、遥かに多くの鳥類が生息していることが知られています。今年は初の鳥類の専門家の同行もあり、多くの種の観察を目指します。

◆参加者同士の交流



専門家からの指導だけでなく、参加者同士の交流も魅力の一つ。同じ日本からの参加者は勿論、たとえ英語が苦手でも生き物好き同士、台湾の高校生との交流も図れます。

過去に観察された生物(一部)

アカマルバネクワガタ、タイワンネブトクワガタ、ツマアカズメバチ、ハラグロスズメバチ、ツمامラサキマダラ、アカスジベッコウトンボ、タイワンマメハンミョウ、アカヘリオアオコメツキ、クロヒヨドリ、タイワンオナガ、スウィンホーキノボリトカゲ、キグチキノボリトカゲ、タイワンカナヘビ、タイワンアオハブ、フルノコゴケ、クジャクゴケ等

※プログラムは追加・変更になる可能性があります。